



日本工業規格

JIS
A 0151¹⁹⁶¹

建具記号

Symbols for Windows and Doors

1. 適用範囲 この規格は、建具の材料種類別、開閉方法別、構成種類別の表示記号および整理番号の表示方法について規定する。

2. 記号

2.1 建具記号は、つぎの3種類を組み合わせ、4.に示す方法によって表示する。

- (1) 材料種類別記号
- (2) 開閉方法別記号
- (3) 構成種類別記号

2.2 材料種類別記号は、建具のおもな構造材の種類を、アルファベット文字で表わし、その記号は表 1 に示す。

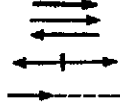
表 1 材料種類別記号

記号	材料種類
A	アルミニウム
G	ガラス
P	プラスチック
S	鋼
Ss	ステンレス鋼
W	木材

備考 表 1 に含まれない材料を用いる場合の記号は、適当に表示する。

2.3 開閉方法別記号は、象形で表わし、その記号は表 2 に示す。

表 2 開閉方法別記号

基本記号				表示記号	
基本記号	開閉方法	記号	開閉方法	表示記号	開閉方法
	折りたたみ		横		片そで折りたたみ 中軸折りたたみ
	固定		固定		はめごろし けんどん (取りはずし)
	引き		横		片引き 引違い 引分け 引込み
			縦		上げ下げ バランス上げ下げ 引上げ 引下げ
			水平		水平
	開き		横 (縦軸)	     	回転 片開き 片自由 両自由 両開き両自由 両開き
			縦 (横軸)	    	回転 すべり出し 突出し 引倒し
			水平		水平

	伸縮		横		横伸縮
			縦		縦伸縮
			水平		水平伸縮
	巻き込み		横		横巻き込み
			縦		縦巻き込み
			水平		水平下巻き込み

備考 開閉方法不定の場合の記号は、－をもって表わす。

2.4 構成種類別記号は、アルファベット文字およびかな文字で表わし、その記号は表 3 に示す。

表 3 構成種類別記号

記号	構成種類別建具名称		備考
E	縁甲板戸		片面の場合は記号の上部に○印をつける。
F	フラッシュ戸		
G	ガラス戸		
L	よろい戸（がらり戸，ルーパー）		
N	網戸		
P	パネル戸（から戸）		
Pr	プレス戸		
S	シャッター		
イ	和式建具	板戸類	
シ		紙張り障子類	
フ		ふすま類	

備考 表 3 に含まれない建具の構成種類別記号は、適当に表示する。

3. 整理番号 形状および大きさの別により整理番号を付け、材料種類別、開閉方法別（ただし 2 種類以上の開閉方法を含むときは主要開閉方法別）ごとにアラビア数字をもって示す。

4. 建具記号の表示方法

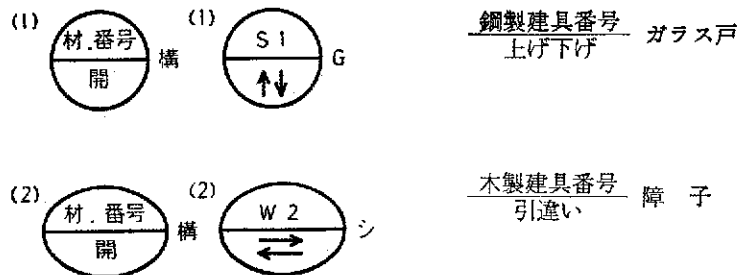
4.1 建具記号の表示方法は、図 1 に示すように円またはだ円形内を水平線で等分し、その上段の左側には材料種類別記号、右側には整理番号を並列する。下段には開閉方法別記号を表示する。

構成種類別記号は必要に応じて、円またはだ円形の右外側に示す。

図 1

(記入例)

(解説)

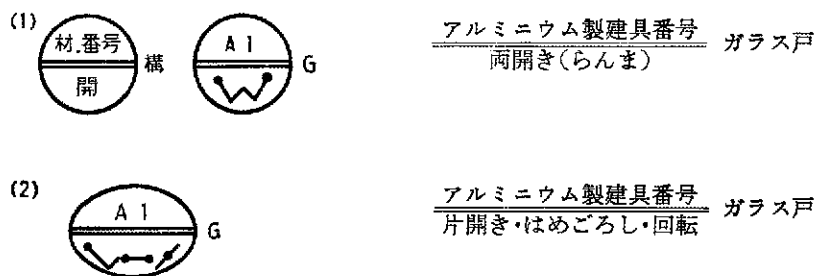


4.2 1箇所の開口部に2種類以上の開閉方法がある場合は、図2に示すように円またはだ円形内を2本の水平線で区切り、上段および円またはだ円形の右側記号は3.1に準じ、下段には、主要な開閉方法別記号を表示するが、あるいはすべての開閉方法別記号を表示する。

図 2

(記入例)

(解説)

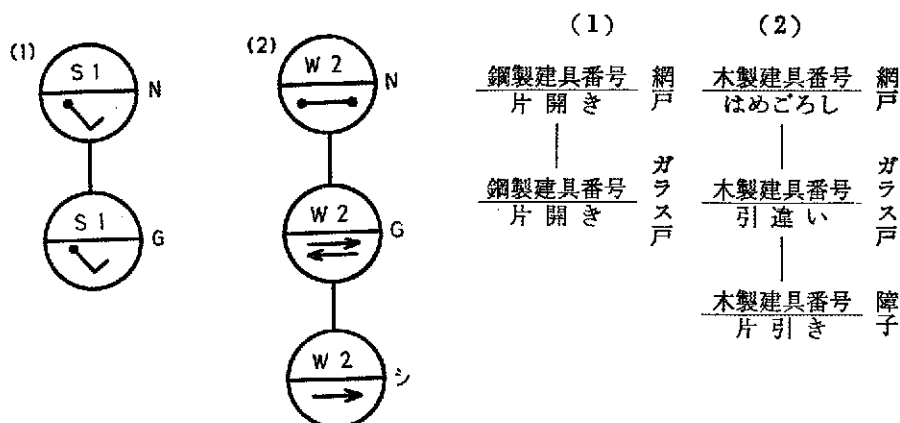


4.3 同一開口部に建具が二重またはそれ以上に重ねて取り付けられる場合は、図3に示すように円またはだ円形の相互間を線でつなぐ。

図 3

(記入例)

(解説)



5. 文字および記号 文字および記号は、JIS Z 8302 (製図通則) および JIS A 0150 (建築製図) による。

参考 つぎに示す事項は、参考に示すものであって、規格の一部ではない。

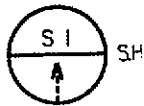
1. 鋼製シャッターおよび和式建具記号をさらに詳細に表示する場合の応用表示例を**参考表 1** およびに表 2 に示す。

参考表 1 シャッター応用表示記号

材料種類別記号	開閉方法別記号	形式	
		記号	シャッター形式
S (鋼製)	 (巻き込み)	H	丁番つづり形
		K	こう子形
		N	ネット形リ
		R	ベットつづり形
		S	差し込み形

(シャッター記入例)

(解 説)



鋼製建具番号 シャッター丁番つづり形
縦巻き込み

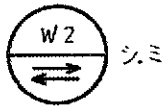
参考表 2 和式建具応用表示記号

材料種類別記号	構成種類別記号	応用表示	
		記号	建具名称
W (木製)	イ (板戸類) シ	ア	雨戸
		オ	帯戸
		カ	鏡戸
		マ	まいら戸
		ム	無双
	(紙張り障子)	ミ	水腰
		コ	腰付
		ガ	ガラス入り
	フ (ふすま)	ト	戸ぶすま
		タ	太鼓ふすま

備考 ねこま、雪見障子などの特別な形式の建具は、適宜表示する。

(和式建具記入例)

(解 説)



木製建具番号 水腰障子
引 違 い

2. ドアチェック、フロアヒンジなどを建具記号に表示する場合の応用例を**参考表 3** に示す。

参考表 3 ドアチェック、フロアヒンジなど応用表示例

名称	応用表示例
ドアチェック	
フロアヒンジ	
ドアヒンジ	

建築部会建具記号専門委員会構成表

	氏名	所属
(委員長)	図 師 嘉 彦	図師建築事務所
	中善寺 登喜次	橋建築事務所
	本 間 正 直	関東地方建設局営繕部監督課
	十代田 三 郎	早稲田大学理工学部建築学科
	田 村 恭	早稲田大学理工学部建築学科
	波多野 一 郎	千葉大学工学部建築学科
	川 端 繁 夫	建設省住宅局住宅建設課
	杉 原 啓一郎	建設省営繕局建築課
	青 江 喜 一	文部省教育施設部工営課
	立 花 量 吉	郵政省大臣官房建築部庁務管理室
	高 柳 仁	日本電々公社建築局設計課
	島 野 邦 雄	日本国有鉄道施設局趣案課
	井 上 隆 章	日本住宅公団建築部調査研究課
	中 川 中 夫	大成建設株式会社技術研究部
	遠 山 太 郎	漬水建設株式会社設計部
	川 島 善 弼	日本サッシ協会
	大 野 宏	不二サッシ工業株式会社研究部
	浅 野 秀 一	社団法人軽金属協会
	福 川 辰之丞	東京健具協同組合
	中 島 善 蔵	中島木材産業株式会社
	粕 谷 奎 三	東京建具協同組合
	東 辰 三	通商産業省軽工業局窯業建材課
(事務局)	長 沢 武	工業技術院標準部材料規格課
	音 羽 五 郎	工業技術院標準部材料規格課
	田 村 尹 行	工業技術院標準部材料規格課
	松 本 文 雄	工業技術院標準部材料規格課